

第2回 多久市総合計画審議会 議事要旨

1 日時

令和7年11月6日（木）14時00分～15時30分

2 場所

本庁4階 大会議室東

3 出席者

【委員】 総合計画策定委員（15名）

（欠席） 5名欠席

【事務局】 総合政策課、有限責任監査法人トーマツ

4 議事要旨

●会長あいさつ

（1）施策項目について

施策項目について（資料1）、事務局から説明を行った。

（2）基本計画素案について

基本計画素案について（資料2・3）、事務局から説明を行った。

審議会委員からの主な意見等は以下のとおり。

①施策目標1・施策目標2

委員意見	事務局回答
<ul style="list-style-type: none">・市民にお見せするときや議員で協議する際に、わかりにくい用語（GX や河川 BOD 調査など）は、用語集をつけるのか。	<ul style="list-style-type: none">・最終的に計画にする際は、用語集を巻末につけるか、注釈をつける方針にて対応する。
<ul style="list-style-type: none">・公共施設の利用者数は累計になるのか。同じ人が何度も利用しているのか、それとも新しい人が増えているのかわかりにくい。本当に利用者数という指標でよいのか。にぎわいという意味では一日に対する利用者数を指標にするのがよいのではないか。	<ul style="list-style-type: none">・利用者数のカウントの仕方は事業課と意見を合わせて検討していく。・どうしても指標にしやすい数字が選ばれる傾向にあり、本当に課題に対しての目標になっている指標となっているか、対応課と検討していく。
<ul style="list-style-type: none">・2-4（P40）について、多久市は国際交流についての施策はあまり進んでおらず、英語や中国語の表記はあるが、主要な施設では対応できる人員がいない。・商店街に近隣で唯一のインドネシア料理のお店があり、周辺地区からインドネシア人がその味を求めて長崎、福岡などからも来訪される。これは県とも連携して活かすチャンスではないかと思うが、国際交流や多文化共生を管轄する部署が多久市にあるかもわからない。	<ul style="list-style-type: none">・国際交流については総務課の行政係が対応になる。発言いただいた現状について共有させていただく。・総務課行政係は中国との交流が主になっており、多文化共生の事業としてはほとんど行っていないのが現状。
<ul style="list-style-type: none">・多久市の人口が減っている中で、労働力としても外国人の方は重要な存在になっていく。ぜひ多文化共生の事業は今後検討いただきたい。・どこも外国人が増えてきているが、多久市の移住者の人数や移住目的の内訳などは把握しているのか。	<ul style="list-style-type: none">・先ほど挙がったようにインドネシア人が多く、ゴルフツアーや東アジアの方が多い。移住者の精査は今後行っていきたい。
<ul style="list-style-type: none">・あじさいの利用者は市外の人の利用も多いと聞いた。市内と市外の利用者数の割合も見ていかないときちんとした現状の把握にならないと考える。市外の人も利用してよいと思うが、何より市内の子育て家庭が利用してもらわないといけないのではないか。	<ul style="list-style-type: none">・貴重な意見として承ります。
<ul style="list-style-type: none">・歩いて訪れるこどもが北多久町以外は少ないという意味で受け取った。0-5歳と5歳以上のことの記述がごっちゃになっていると感じる。明確とした記述が必要ではないか。	
<ul style="list-style-type: none">・実際に遊びに行きたい子が、移動手段がないためあじさいを利用できないなど、利用するためのハードルがある。	

需要と現状に相違があると思うので、そういう対策を考えてほしい。	
---------------------------------	--

②施策目標3・施策目標4

委員意見	事務局回答
・学校ボランティア関係の事業はどこに記載があるのか。 ・ボランティア意識を幼少の時からはぐくむ必要があると考えるため、ぜひ検討していただきたい。	・学校ボランティアではなく、地域でのボランティア活動についての記載をしている。記載の仕方については今後検討していく。
・P56 のシルバー人材センターの会員数は、65 歳を超えても就労する場がある現状もあり、指標として評価するに値するか再度検討していただきたい。	・検討していく。

③施策目標5・施策目標6

意見なし

④施策目標7・施策目標8

委員意見	事務局回答
・P167 のコミュニティ組織への支援について、地域おこし協力隊の役割が課題解決に結びつかない。基本的には外部からきた方あり、その方にいきなり来てもらって活性化に寄与するのは難しいのではないか。	・ご指摘の通り、記載内容は集落支援員のことを指しており、地域おこし協力隊は役割が違うので、記載内容を修正していく。
・P89 の水質維持に関して、水質について問題ないのであれば、透明度や流れ方などもフォーカスしていく必要があるのではないか。	・水質の部分と水の流れ方部分の2つの課題があると思うが、この施策では水質についてフォーカスしているためそのままとしたい。